

ラ・サール 生物部 短報

1965 5月 14日 No.5

生物部予算 中学 12000
 高校 16800

生物部遠征記①

5月4日 快晴の日
我等のラ・サール生物部員総勢たったの4人(私、中尾、橋口、竹永)は烏帽子岳へ昆虫と植物採集へ行っ
しかし山に登る途中、中尾(4)のズボンは破けるし又
川に彼ははまってしまいうやらでるくな事はなり上
に、蝶は出てこないのので頂上に着いた時はもうだ
めだ！などと思ったが、頂上で昼食をとり終りっ
た頃からジャコウアゲハやアゲハなど蝶がたくさ
ん出現し始めた。
それから頂上を下って10分ぐら(1)した所で何かか
目の前をスツと光号ぐら(1)の速さでかすめて行っ
た。目でそ(1)つをよく見ると、トンボらしい(1)と
思った時、中尾(4)が「昔トンボだ」というので全買
必死になっ(2)てネットをか(1)るっ(1)た。決果、兄が3頭
(2)も、1早)橋口が1頭否(1)とったが、僕は1頭も取る
事ができな(1)かった。又竹永はその時蘭を取って(1)
たが、朋(1)はもう(1)く(1)さんは入(1)っていた。
かくして遠征は成功したが、残念なのはとれても(1)
いはず(1)であるスミナガシがとれ(1)な(1)かった。
ラ・サールの愛(1)な(1)か(1)っ(1)こ(1)う(1)ま(1)し(1)た(1)四(1)人(1)が(1)来(1)た(1)と思(1)っ
てどこか(1)ハ(1)か(1)く(1)れ(1)て(1)しま(1)っ(1)た(1)の(1)か(1)も(1)し(1)れ(1)な(1)り(1)。

(T.N)

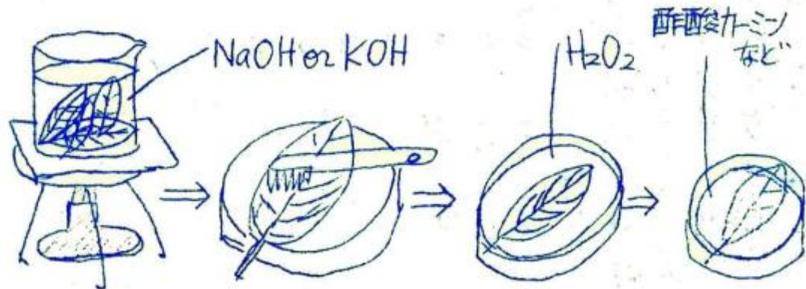
※ 葉脈標本の作り方

材料
方法

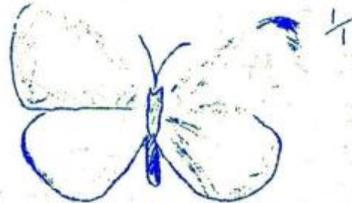
- ① モクセイやヒイラギなど。
- ② 苛性ソーダ(NaOH)か苛性カリ(KOH)の20%~25%ぐらいの水溶液に取ってきた葉を入れて10分~15分ほどアルコールランプで熱し、火を消して10分ぐらいそのままにして置く。すると葉肉がはげやすくなるのでブラシなどで軽くたたいてからこさぐと葉脈だけの葉ができる。それを過酸化水素水で漂白し酢酸カーミンなどで着色する。

注意

苛性ソーダや苛性カリは強いアルカリなので皮膚や服につかないようにする。だから葉をピンセットで取って水であらってから身でさわる。



サリマシジミ
産地： 本州, 四国, 九州
開張： 3.5 cm
食草： サンゴジュ
ネズミモ子等



学名 *Celastrina albocerulea*

雄雌の区別は羽の色で見分ける。 ~~サリマシジミ~~ サリマシジミの4令終令幼虫

生物部遠征記④(植物)勢斗人はその人うち子人まで
 前記のうり採集(植物)勢斗人はその人うち子人まで
 昆虫のある採集(植物)勢斗人はその人うち子人まで
 シダ類とされた。カズラ科オニトウゲシバ
 筆あヒカトウゲシバ科ラマゴケカタヒバ
 イフヒバ科ラマゴケカタヒバ
 トクサ科ナリ科
 ハナヤスハナウビ科
 リユウビ科
 ゼンマイ科シロヤマゼンマイ
 ウラジロ科コシダ
 コケシノバコ科シノバ
 キジノオシダタカサゴキジノオシダオオキ
 ウラホシ科
 フモトシダイシカグマコバノイシカグマ
 ホラシノブハマホラシノブワラビイワガ
 ネゼンマイイワホネイワホネイワホネイワホネ
 ヌクシダイノモトソウアマクサハチハチ
 ジョウマクサシダオオバノハチハチクサソテツイ

烏帽子岳で採集した昆虫

◎蝶類

アゲハチョウ K.H ♂♀
 ジャコウアゲハ K.H ♂♂♂♂♀♀ T.N ♀♂
 クロアゲハ T.N ♀
 モンキアゲハ K.H ♂
 ジャコウアゲハはできるだけ乱獲をさげなが
 K.Hがむやみにとりジャコウアゲハには気の
 毒があった。

T.N 中尾⁽¹⁾
 K.N 中尾⁽²⁾
 K.H 橋口
 T.N ♀♂

アサギマダラ K.H ♂
 ヒメウラナミジャノメ T.N ♂♂♀
 K.H ♀♀
 コミスジ K.H ♂♂♀
 ツバメシジミ T.N ♂♀ H.K=K.H=橋口
 ルリシジミ T.N ♂
 サツマシジミ T.N ♂♀ H.K ♀ K.N ♂
 アオバセセリ T.N ♂ H.K ♀

その他甲虫類もたくさんとちがまだ名前が
 わかっていないのでわかってからまた機会が
 あったら書く事にする (T.N)

◎生物部員募集

生物部入部希望者は、3.a. 橋口(K)まで。

まだいま20人